



型番：TAFF-03-R / TAFF-04-R / TAFF-05-R
TAFF-06-R / TAFF-07-R / TAFF-08-R (共通)

取扱説明書

この度は、防水タイプブレーキランプ【タフ】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書は大気に影響して、必要になった時に繰り返してお読みください。

本機をご使用前に～

- 車種の特長 特殊な車種をご使用になられている場合は、車種が特殊な配線とされているなどにより、本機をご使用いただけない場合があります。あらかじめ、車種電装業者に詳しい取付販売店までご相談ください。
- 本機の取り付けは、燃料タンク、燃焼バンプなど、火災を誘うものから出来るだけ遠ざけて設置してください。万が一の場合、火災や感電などの事故が起こる危険もあります。
- 本機は、お客様の自身の責任において、ご使用ください。本機の使用によって、直接、または間接的に人身に怪我、火災、あるいは、その他の全ての問題に対して、弊社は、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付けは、車種電装に詳しい販売店にて依頼下さい。車種電装の知識不足による、誤った取り付け・配線方法による、車種の騒音、故障など、全ての問題に対して、弊社は、いかなる責任も負いかねます。また、それらにおいて生じた故障、故障などは、ご購入からの期間、使用期間の高止まりに関わらず、車種電装となりますので、十分にご注意ください。

本体各部の名称と使い方

ボタン操作時の注意

ボタンを押す時は、指の腹で軽く押すようにして下さい。
つまみで押し、ペン先など、尖ったもの等で押し込まないで下さい。
点滅スピード（速く）を押すことにより、点滅スピードを速くします。
点滅スピード（遅く）を押すことにより、点滅スピードを遅くします。
点滅スピード（速く）を押すことにより、点滅スピードを速くします。
点滅スピード（遅く）を押すことにより、点滅スピードを遅くします。

点滅パターン・点滅スピードの設定について

内蔵の各種の点滅パターンの中から、好みの点滅パターン、点滅スピードを設定できます。
点滅パターンの詳しい設定方法は、別項にて解説します。

この取扱説明書には、取り付けや取り換え、方への事故などを未然に防ぐための重要な注意事項などを、明記しています。本書をよくお読みの上、お客様の責任において、安全にお使いください。

特に、個人でお取り付けになる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

お手入れについて

長くお使いいただくために、定期的メンテナンスをお願いします。キャビネットの汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸しぬぐい取りをし、よく絞ってから、乾かしてください。乾かす際は、直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、点滅スピード調整ボタンは、指の腹で軽く押すようにして下さい。つまみで押し、ペン先など、尖ったもの等で押し込まないで下さい。また、お手入れの際は、安全にお使いください。

点滅について

使用の際は、定期的に、本体、ケーブル、配線などに、傷みや破損がないか、接続箇所が異常に発熱していないか確認し点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネット、防水ケースなどの破損が現れたら、すぐに使用を中止しお買い求めの販売店、または、弊社に連絡をご依頼ください。

異常が発生したときは

雨が、大きな音に、煙や臭いが発生した、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。異常状態のまま使用を続けると、リレー本体だけでなく、ランプユニットにも故障をきたすことがあります。

分解・改造禁止

本機を分解したり、改造したりしないで下さい。火災や感電、故障の原因になります。セーム交換などで、分解する必要がある場合は、お買い求めの販売店、または、弊社までご相談ください。

規定内の電気で使用して下さい

本機は、DC12V～24V（ワリボルブ電源・直流のみ）専用です。規定外の電気で使用しないでください。また、DC-DCコンバータ、バッテリー充電器、家庭用コンセントなど、交流電圧が印した電気の使用はできません。故障の原因になりますので、絶対におまねください。

仕様	
電源入力	ワリボルブ電源DC12V～DC24V（バッテリー直流のみ）
最大出力(DC24V使用時)	TAFF-08 最大 400W（25W球の場合、1連あたり/2個まで）8連合計 最大16個まで TAFF-07 350W（25W球の場合、1連あたり/2個まで）7連合計 最大14個まで TAFF-06 300W（25W球の場合、1連あたり/1個まで）6連合計 最大12個まで TAFF-05 250W（25W球の場合、1連あたり/2個まで）5連合計 最大10個まで TAFF-04 400W（25W球の場合、1連あたり/3個まで）4連合計 最大16個まで TAFF-03 300W（25W球の場合、1連あたり/4個まで）3連合計 最大12個まで
DC12V使用時	TAFF-08 最大 200W（25W球の場合、1連あたり/1個まで）8連合計 最大8個まで TAFF-07 175W（25W球の場合、1連あたり/1個まで）7連合計 最大7個まで TAFF-06 150W（25W球の場合、1連あたり/1個まで）6連合計 最大6個まで TAFF-05 125W（25W球の場合、1連あたり/1個まで）5連合計 最大5個まで TAFF-04 200W（25W球の場合、1連あたり/2個まで）4連合計 最大8個まで TAFF-03 150W（25W球の場合、1連あたり/2個まで）3連合計 最大6個まで
外形寸法	縦 140.0×横 50.0×高さ 45.0 (mm)
重量	約210g（3連タイプの場合、連数によって、若干重量は増えます。）
点滅パターン切替	デジタル式チャンネル切替スイッチ
点滅パターン数	全28パターン（点滅パターン28種類+全灯（ノーマル/車検対応））
点滅スピード調整	デジタル式スピードボリュームスイッチ

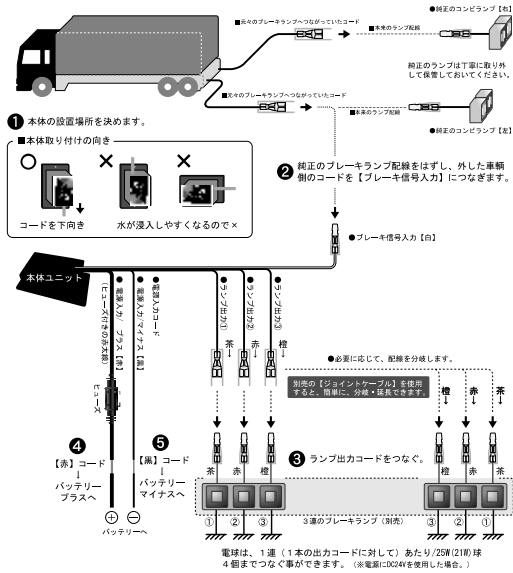
- 商品の写真などは印刷の性質上、実際とは多少異なることがありますのであらかじめご了承ください。
- 電圧別のため、外装、仕様の一部を平均値に記述することがあります。
- 取り付けには、電気知識が必須です。個人での取り付けには、取扱説明書を十分に読まねばなりません。販売に際しては、ご確認ください。

有限会社サムズ電子事業部 〒586-0039 大阪府河内長野市楯ヶ丘37-19
お問い合わせ TEL 0721-64-0558 / FAX 0721-64-0574 (AM 9:00～PM 6:00 土日祝休業)

web: <http://www.sames-inc.com/> | e-mail: <http://www.sames-inc.com/i/>

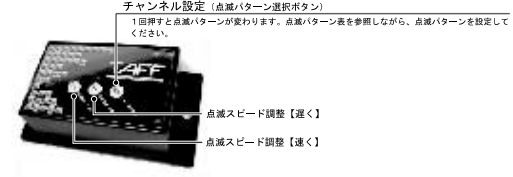
【タフ】本体とブレーキランプの接続

- ▲ 警告 取り付け前に、断線、ショート、球切れなどがないか点検してください。
- 本機の取り付けを始める前に、車種各部に断線や、ショートなどの異常がないか、テストなどで点検して下さい。異常が発見された場合には、接続箇所を完全に確認してから、取り付け作業を開始してください。
- 取り付けの際は、電気知識に基づいた、正確な配線をお願いします。誤った取り付け、取り換えにおいて生じた故障につきましては、使用期間の長短、無償修理保証期間に関わらず、有償修理となりますので、十分ご注意ください。
- 異常を放置したまま配線しますと、リレー本体が正常に稼働しません。有償修理になりますので、十分ご注意ください。また、作業時には、安全のため、バッテリーターミナルを外しておください。



■ 本体ボタンの操作方法

点滅パターン、点滅スピードの操作方法は、TAFFブレーキタイプはすべて同じです。



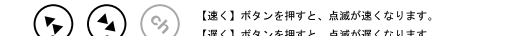
■ 点滅パターンの設定

■ 点滅パターンは、内蔵の28種類（ノーマル点灯1種類含む）の中から選択することができます。（詳しい点滅パターンは右表参照。）



■ 点滅スピードの調整

■ 点滅スピードは、最も速い点滅～最も遅い点滅に到達するまで、ボタンを押し続けた状態で、約1分程度掛かります。点滅スピードを調整するときはそれを目安に調整して下さい。



■ 点滅が速過ぎ、または、遅過ぎて点滅パターンが分りにくい場合には、点滅スピードを調整して、点滅パターンが確認できるくらいのスピードに、点滅スピードを調整してから、点滅パターン設定をしてください。

取り付け前に、断線、ショート、球切れなどがないか点検してください。

本機の取り付けを始める前に、車種各部に断線や、ショートなどの異常がないか、テストなどで点検して下さい。異常が発見された場合には、接続箇所を完全に確認してから、取り付け作業を開始してください。

■ 本体の設置場所を決めます。

本機は、左右どちらかのブレーキランプに近い位置で、できるだけ水の掛かりにくい所に、コードの引き出し口が下向きになるよう取り付けして下さい。



■ 1 リレー本体へブレーキON/OFF信号を入力するためのコードを配線します。
タフは、車種のブレーキが稼働しているかを認識するために、車種のブレーキランプに元々配線されていた（純正のブレーキランプにつながっていた）コードを、「ブレーキ信号入力」につなぎます。

■ 2 プレーキランプへ出力コードを配線します。
リレー本体から出ているコードの中から【赤・赤・橙】コード（機種により本数は異なる）をブレーキランプの外側より、赤・赤・赤、赤・赤・赤、橙・赤・赤とつないで下さい。

■ 3 プレーキランプへ電源コードを配線します。
リレー本体から出ているコードの中から【赤・赤・赤】コード（機種により本数は異なる）をブレーキランプの外側より、赤・赤・赤、赤・赤・赤、橙・赤・赤とつないで下さい。

※設置するランプの種類により、配線に分ける必要があります。3連用にご用際は、異なるランプ出力を分岐、延長するためのケーブルセットをご用意しています。

■ 4 バッテリー【+】から、リレー本体への電源を配線します。
リレー本体の【赤・赤・赤】電源プラス（ヒューズが付いているコード）を、バッテリー【+】に直接配線して下さい。※電線コードの（ワリボルブ）本体まで必ず2.5mm以上のケーブルを使用して下さい。（モデルは、3.5mmがおすすめ。）

■ 5 最後に、バッテリー【-】と、リレー側の黒コード（マイナス）をつなぎます。
4までのすべての作業が完了したら、最後に、リレー本体の【黒/コード/電源マイナス】をバッテリー【-】に直接つないで下さい。

以上で配線は完了です。

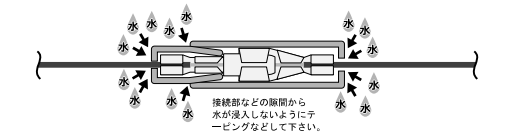
■ 点滅パターンリスト（ブレーキタイプ全機種共通）

TAFFシリーズは、【ブレーキを踏んだ時】のブレーキランプの点滅方式（踏んでいる時：全灯 … 【ブレーキを放した時】のブレーキランプの消光方式、内蔵の28種類の点滅パターンの中から自由に選択することができます。また、通常点灯も、点滅パターンの中に内蔵しており、本体ユニットを取り外すことなく、通常のブレーキ点灯状態にすることも可能です。（点滅パターン8ch：全灯+全消 選択時）

ブレーキを踏んだ時 (ON)	～ 踏んでいる時 …	ブレーキを離した時 (OFF)
1 1点の流れ (1点2回)	全 灯	点き引きで終わる (順に1つずつ消えていきます。)
2 2点の流れ (2点1回)	左側のパターン点滅状態のまま、数秒間ブレーキを踏み続けていると【全灯】状態になります。	
3 交互点	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
4 積み重ね	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
5 左右流れ (ナイトライダー)	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
6 つき足しつき引き (通っかけ)	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
7 フラッシュ	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
8 全 灯 / 全 消	通常のブレーキ点灯が必要な場合は、このパターンを選択してください。	
9 1点の流れ (1点2回)	全 灯	調光消灯で終わる (全灯状態からゆっくりと減光し、徐々に消えながら消灯します。)
10 2点の流れ (2点1回)	左側のパターン点滅状態のまま、数秒間ブレーキを踏み続けていると【全灯】状態になります。	
11 交互点	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
12 積み重ね	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
13 左右流れ	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
14 つき足しつき引き (通っかけ)	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
15 フラッシュ	ブレーキを放すまで、【全灯】状態のままになります。	
16		交互点で終わる
17	全 灯	1点左右流れで終わる
18		フラッシュ点滅で終わる
19		調光消灯
20 1点の流れ		1点の流れで終わる
21 2点の流れ		2点の流れで終わる
22 交互点		交互点で終わる
23 積み重ね		積み重ねで終わる
24 左右流れ (ナイトライダー)		左右流れで終わる
25 つき足しつき引き (通っかけ)		つき足しつき引きで終わる
26 フラッシュ		フラッシュで終わる

※ 千ボシ端子接続時の注意

千ボシ端子などのジョイント部分から、【毛細管現象】により水が浸入することがあります。本体内部に水分が入ると故障の原因になりますので、必ずテーピングなどの処理を施し、これらの箇所が、絶対に水に濡れないようにして下さい。
水分が本体内部に浸入すると故障の原因になります。



■ 別売のジョイントケーブルを使用した配線例

ジョイントケーブルを使用すると、TAFF本体からのランプ出力コードとブレーキランプの間に割り当てて、配線を簡単に、分岐・延長させることができます。

